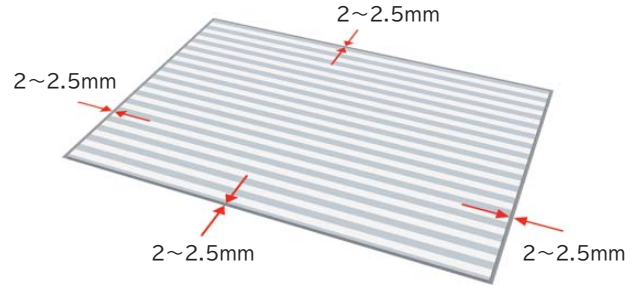
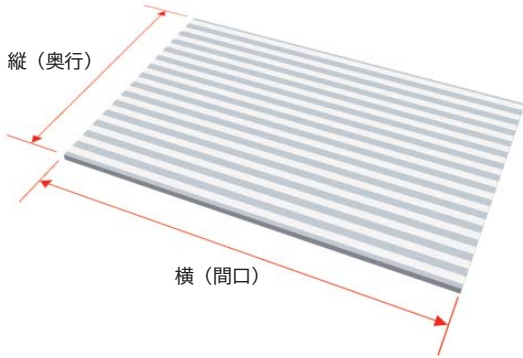


玄関マット・樹脂の施工とメンテナンス 2

サイズの確認とラインの向きの確認

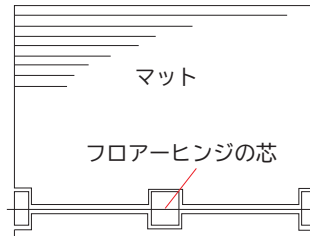
- マットには、ライン入りもあります。採寸の基本は縦（奥行）× 横（間口）で間口の方向にラインが流れます。逆に注文されますと奥行の方向にラインが流れる事になりますので特にご注意ください。またマットのみのご注文の場合、

マットの取り外しを考慮して枠の内寸より 4mm～5mm 小さくしてマットのサイズをご指定ください。



変形形状の対応

- 風除室等に敷き込む場合、美観を損なわないようにフローアヒンジの芯で基本的には分割しますが、メンテナンスの関係からマットの重量によって分割を必要とする場合がありますので、担当営業にご相談ください。
- 多少の変形の場合でも図面をいただければ製作可能ですが、型紙を取っていただければより正確に製作が可能になります。マットの寸法は枠内寸法より 4～5mm 小さいサイズをご指定ください。
- マットのタイプによっては形状の関係上指定いただいたサイズの近似値で製作させていただく場合があります。担当営業にご相談ください。



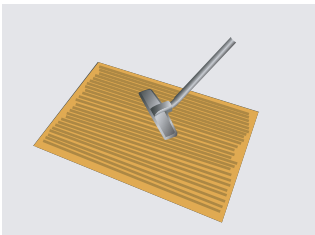
設置時のお願い

- 樹脂製品の為、直射日光や輻射熱等で高温になる場所での設置に関しては、ご注意ください。
- 製品を傾斜部に設置しないでください。
- 平坦な場所での小サイズや滑りやすい床面での設置には、製品自体の滑り防止をしてください。
- 置き敷きとして使用される場合は、つまづく恐れがありますので専用枠またはフチ付きをご使用ください。
- 巻き癖がついている場合は、十分巻き癖を取り去ってから施工してください。
- 製品を設置する場合は、設置面にゴミや凹凸がないようにしてください。
- 樹脂製品の為、温度変化により伸縮を繰り返して最終的に縮む傾向があります。また設置面が商品の融点を超える場合、融け、波打ちが生じる場合がありますのでご注意ください。
- ロールタイプのマットを接着設置する場合は、材質と設置面に合わせた接着剤をご使用ください。担当営業にご相談ください。

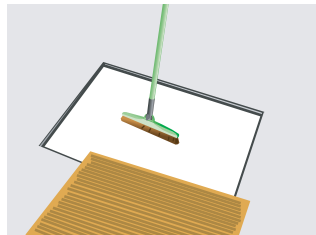
お手入れの仕方

- 日常のお手入れは、水又は薄めた中性洗剤で洗ってください。
- 洗剤が残らないように洗い流してください。滑って転倒などの原因になります。
- シンナー等の揮発性の高い溶剤がかかると、樹脂破壊が起こり、変形の原因となりますのでご注意ください。

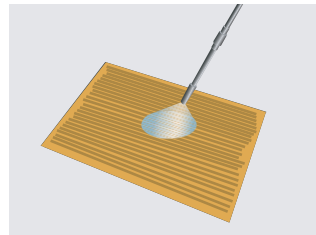
- 表面のほこり、ゴミ等は掃除機で吸い取ってください。
- 製品は、樹脂を使用しておりますので長い間のご使用に関しては、樹脂劣化も考えられますので使用時には再点検をお願いします。
- 廃棄の場合は産業廃棄物扱いになります。



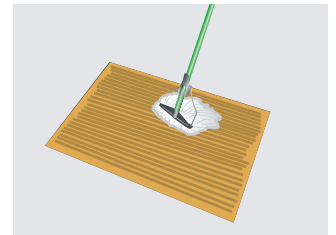
日頃のお手入れは掃除機で表面の砂埃を除去してください。また掃除機で吸引できない石やガム等は先のとがった道具をご用意していただき除去をおこなってください。



定期的なお手入れとしてマットを枠から取り出して下の落ちた埃、砂を除去してください。その時マットの裏側の汚れも除去してください。



取り出したマットを水で洗浄してください。汚れの程度により中性洗剤やデッキブラシ等を使用して両面とも洗浄してください。



洗浄後はモップ等を使用して良く水を切ってください。乾燥させる場合は日陰で平置きし、陰干ししてください。乾燥したらマットを元の場所に戻しご使用ください。